



説明会全体の様子



農林水産省担当者からの説明

沖縄総合事務局では、令和5年6月26日(月)に「みどりの食料システム戦略関係事業者向け説明会」を開催しました。

農林水産省では、生産者の減少・高齢化や地球温暖化に代表される環境問題など、食料・農林水産業が直面する課題に対応し、環境への負荷が少ない持続的な食料システムを構築するため、「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

本戦略に基づき、中長期的な観点から、有機農業の拡大、化学農薬の使用量削減等の環境負荷低減の取組を推進しています。

また、化学肥料・化学農薬の使用量を削減するなど、環境負荷低減に取り組む農業者・事業者に税制特例などの支援措置を講じる認定制度(みどり認定)が、令和5年度から本格的に始まっています。

本説明会では、認定の手続き、メリットなどについてご紹介する

お問合せ先
農林水産部 生産振興課
098-866-1653

とともに、農林水産分野においても温室効果ガスの排出削減を図る観点から、温室効果ガスの排出削減量を国が認証して売買可能とするJ-クレジット制度のうち農林水産分野で実施可能な取組についての説明を行いました。説明に連して参加者からは、バイオマスの活用や営農型太陽光発電などに関する質問をいただくなど高い関心が寄せられました。

当局では、今後も食料・農林水産業における環境負荷の低減を図るため「みどりの食料システム」に基づく取組を推進してまいります。みどり認定や農林水産分野におけるJ-クレジット制度などについてご質問などございましたら、お気軽にお問合せ先までご連絡ください。

- 牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- 家畜排せつ物管理方法の変更
- バイオ炭の農地施用
- 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入

農林水産業で活用が想定されるJ-クレジット制度の取組の例



参加者が牛乳を飲む様子

沖縄総合事務局「消費者の部屋」では、若い世代を中心とする消費者の皆様に、農林水産業の生産現場について理解を深めていただくため、令和5年7月21日(金)に、小学生の親子連れの方を対象に「夏休み特別講座 親子見学バスツアー」を開催しました。

当日は、親子6組、合計21名の方に参加いただき、いつも家庭や学校給食で飲んでいる牛乳について学んでいただきました。まず牛乳工場の見学を行い、牛乳の製造方法について工場の方から教えていただいたあと、出来たての牛乳を試飲しました。新鮮な牛乳を手にする子供たちの喜ぶ顔が見られました。

お問合せ先
農林水産部 消費・安全課
098-866-1672



牧場見学の様子

今回のツアーを通して、牛乳をもっと好きになった方が一人でも増えていけば嬉しいです。「消費者の部屋」では、今後も農林水産業に関する情報発信をしていきますので局HPやSNSをご覧ください。



「みどりの食料システム戦略
関係事業者向け説明会」を
開催しました



「消費者の部屋 夏休み
特別講座親子見学バス
ツアー」を開催しました